

# まほろば元気通信

co-op shizenha nara official newsletter vol.1089 2021.6.21

**注文専用  
ダイヤル**

フリーダイヤル **0120-408-154**  
 携帯電話(無料通話プランなし) 0570-050-154  
 携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-666-3321  
 受付時間▶月10:00~21:00 ④~⑥8:00~21:00 ⑦8:00~10:10

**組合員  
サービス  
センター**

フリーダイヤル **0120-408-300**  
 携帯電話(無料通話プランなし) 0570-063-008  
 携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080  
 受付時間▶月~⑤ 8:30~20:00

2021  
Vol.14  
NARA

**事務局NEWS**

今週ぜひチェックしてほしい  
お知らせをお届けします。

●「非対面配送」を行っています。 ※配送時には  
 ★配送担当者は組合員さんとなるべくお会いしないようにします。  
 ★室内へ入っての商品の受け渡し作業は行いません。  
 ★到着の際はチャイム、インターフォンでお知らせいたします。  
 ★配送担当者は予防のため、マスクを着用しアルコールによる消毒を行っています。  
 ★ご在宅の場合、あらかじめ「かご」等の入れ物をご準備いただけましたら、保冷箱から出してお届けすることも可能です。空箱を翌週まで保管するのがご負担の場合はお知らせください。到着の際はチャイム、インターフォンでお知らせしますので、すぐに商品をお取り込みください。

少しでもスムーズに配送できるように…  
 インターホンで「玄関に置いておいてください」と言ってもらえると助かります!  
 配送事業の継続を守るために  
 いまだけは、インターホン越しの対応にご協力おねがいします。

「自然派オンライン」活用法～AI商品検索～

商品が見つからない場合、AIが類似商品を提案してくれるのでとっても便利です♪

私のおすすめ商品

『若手の畑応援セット』 1000円で葉物野菜がたくさん入っているのだからお得で、とっても美味しいですよ! 1676コース 松本結衣

14号より紙パックのPHFたまごが登場

カタログ回収のご協力により実現しました! ポスティ14号表紙をぜひご覧ください。

## 報告

### どうなってる?核のゴミ最終処分

#### 北海道・岐阜の深地層研究所をめぐる市民の活動から学ぶ

◎北海道幌延 久世さん・共同購入会から生産者へ兵庫での自給自足の生活。その後、より豊かな自然を求め北海道幌延に移った翌年、1986年に旧動燃(現原子力機構)が核ゴミ地層処分のための強硬調査を行った。11月23日は今年も毎年「幌延デモ」として反対行動を続けている。反対署名をトラクターで3日かけて知事に届けるなど地域住民の強い意志を示したが、「処分場と分離して深地層研究所だけを20年間設置する要望」を自治体許可。すでに20年を経過したが、さらに掘削深度を下げて運営延長する申し出が出ており、引き続き動きを監視し運動を継続することが必要である。運動を継続するためには、地元の仕事がある次世代が働ける環境が大事と思ひ、工房を作った。今は娘さんが協力しながら経営している。

◎岐阜東濃 兼松さん…核ゴミの深海投棄が国際的に禁止されたため国が廃棄方針を地層処分に転換、東濃にウランの露頭が発見され、処分場調査の対象となった。1995年唐突に原子力機構の所有地に深地層研究所の建設計画が発表されたが、地域住民の97%が反対した。その間兼松さん達の情報公開請求など運動のおかげで、数々のポイント調査や処分に向けての計画が、住民に知らされたまま行われていたことが明らかにされた。

2002年、瑞浪市有地に20年間の賃貸貸し契約で移転し深地層研究所建設。当初は1000まで掘削を想定していたが、湧水が想定以上に多くその半分の深さとなった。知事からの強い要請により、2020年から埋め戻しが開始されているが、施設の構造物や配線などはそのまままだ埋め戻しているため、市が再利用するのは難しい状態。2020年3月に返還予定。

◎寿都町…泊原発のすぐ近くにあり、町長の独断で応募。地方交付金が、町長調査だけでも発生するので、調査後は断ればいいと発言しているが、そんなことはありえない。地元の漁師や加工業者が中心に反対運動。議会の解散請求や幌延の時のように周辺自治体で反対包囲網を作るなど継続中。自然派でも行った反対表明の署名は48万筆集まり、知事に手渡した。北海道新聞では連日この問題を報道しているが、私たち他府県にはほとんど伝わってこない。

◎核ゴミの処分は難しい。解決方法があれば教えてほしいと思う。幌延でも岐阜でも改めて確認できたことは、地下水の豊かな日本で地層処分は危険が大きすぎるということ。

◎発生責任という考えに立ち返り作った人が責任をもって処分してほしい。設置問題が起こった地域では、住民対立が起こった。岐阜では、問題が長引くにつれて、みんな眼をこわすようになって、反対する人はごくわずかになった。

◎兼松さん…地元の有機野菜とお米、魚中心の食事。日本てできたものを安心して食べたいだけ。有機のお野菜は本当に美味しい。毎日生活の中で何を見て、食べ、買うのかを選択していると思うが、選挙にもぜひ行って欲しい。どんなことをして発言している人なのかをちゃんと知って選び、当選した後もその仕事をちゃんと見届けてもらいたい。

◎お二人からコープ自然派組合員の皆さんへメッセージ

◎久世さん…大切なものは、自分の近くでできたものを食べることができない。日本てできたもの、大病を患ってからは、古来日本人が食べてきた米と味噌汁など大事にする思いが増した。どこに住んでいても地球規模で起こっていることに目を向け、便利な生活は誰かの犠牲の上にならなければならない。そのためには、どの洞察力が必要。

◎兼松さん…地元の有機野菜とお米、魚中心の食事。日本てできたものを安心して食べたいだけ。有機のお野菜は本当に美味しい。毎日生活の中で何を見て、食べ、買うのかを選択していると思うが、選挙にもぜひ行って欲しい。どんなことをして発言している人なのかをちゃんと知って選び、当選した後もその仕事をちゃんと見届けてもらいたい。

◎兼松さん…地元の有機野菜とお米、魚中心の食事。日本てできたものを安心して食べたいだけ。有機のお野菜は本当に美味しい。毎日生活の中で何を見て、食べ、買うのかを選択していると思うが、選挙にもぜひ行って欲しい。どんなことをして発言している人なのかをちゃんと知って選び、当選した後もその仕事をちゃんと見届けてもらいたい。

## 報告

### 森に出かけてみよう!

#### 椋原の森オンラインツアー

コロナ禍でなかなか旅行に行けないどころか、年末年始の帰省もできずストレスが溜まる日々に、一度は行ってみたい椋原の森オンラインツアーの企画。今回お話を聞かせていただいたのは高知県椋原町森林の文化創造推進課課長 立道齊さん。当日は椋原町のきれいな風景の写真を背景にお話しいただきました。

標高1,453m、四万十川の源流に位置し、面積の9割が森林の雲の上の町「椋原」。森林づくり基本条例を制定し「超長期にわたる森林経営を目指した森林づくり」を施策展開されています。「椋原」の語源は「椋(ゆす)の木の算盤や木刀の材料になる木だそうです。1950年ごろ国の政策で植林が始まり、椋原の森の7割がスギ、ヒノキなどの針葉樹です。航空レーダーを取り入れて地形を測定し、木々の成長や間伐の促進状況を把握し、森の適正管理をしています。

椋原の森を構成する木はほとんどが90歳(樹齢約45年)以上、つまり木材として利用可能な木です。その資源を生かしてコンクリートからの転換を推進し、公共施設の多くが町産材を使つたものになっていきます。中でも建築家隈研吾氏がデザインした施設はオシャレに洗練された建物で、一度見てみたいと思わせるものばかりです。それらは「木造芝居小屋 ゆすはら座」の繊細な生まれた建築家だそうなんです。

森を守る取り組みへの町民あげての団結力は、明治の合併以後、合併していな町だからその結束力ではないか。立道さんのお話には、何度も「森林づくりは人づくり」の言葉が出てきます。町産材を使用した校舎や図書館、体育館やプールで過ごせる子どもたちもあって幸せなんでしょう。食べるものももちろん大切ですが、呼吸する、その空気も同じように、しっかりと根を張って、枝を伸ばし、まっすぐ成長していくことでしょう。

また、木材生産の場としてだけでなく、生物をめぐむ森の多面的な面を考え、「異年齢の樹齢混合林」を目指しています。今は同じ樹齢の針葉樹が多くを占めています。が、広葉樹には動物の餌になる木の実はなくなり、里山の獣害対策にもつながります。100年後も、谷川の水が森を潤し、若者が森の恵みを生業とし、子どもたちがこだます豊かなまちが続くために、異なる樹齢の、針葉樹、広葉樹それぞれの特性を生かした森づくりを進めています。

お話を聞いた後、「行ってみたい」と思っていた気持ちは「住んでみたい!」に変わっていました。森に変わらなれば、森にまみれ、森で結ばれる。森たちの次世代、さらに先の世代の子どもたちに豊かな森を残すために、まにまに私たちが一緒に守り伝えていく必要がある。立道さんのお話を介して、椋原の森とコープ自然派の組合員が繋がった気がしました。

■開催日:2021年1月13日  
 ■場所:zoomウェビナー開催  
 ■主催:自然の住まい協議会

←当日のおはなしはYouTubeで公開されています。当日参加できなかった方もぜひご覧ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=5LaWBFISXU>

## ◆自然派の野菜セット

<14号> 注文番号291 1,080円(税込)

ぜーんぶ奈良県産!奈良県農産連から鮮度バツグンで届きます。直近のお届けは、#小松菜 #青ネギ #ズッキーニ #ミニトマト #きゅうり #新じゃが じゃがいもはは「とうや」または「メーカー」をお届けします。  
 ※(J)JAS有機、(省)省農産、(無)無農薬



## ◆谷農園の野菜セット

<14号> 注文番号021135 1,080円(税込)

長年根強いファンをもつ、すべて無農薬の野菜セットです。直近のお届けは、大根・キャベツ・菊菜・しろな・青梗菜・スナップえんどう・にんにく

奈良のSNS自然派

Twitter LINE@ Facebook Instagram

商品企画希望フォーム

コープ自然派で扱ってほしい商品の希望をお聞かせください。個別返信はできません。商品部にて検討させていただきます。



**イベント情報**  
ホームページから簡単に申し込みができます。

●イベントのお申し込み方法  
**<24時間受付> mail : eventnara@shizenha.co.jp**  
 ★件名には必ず「コープ自然派イベント申込」と記入の上、送信ください。  
 ★3営業日を過ぎても連絡がない場合はサービスセンターへお問合せ下さい。  
**<月～金8:30～20:00>**  
**フリーダイヤル: 0120-408-300** 携帯電話(無料通話プランなし)・IPフォン 0570-063-008  
 携帯電話(無料通話プランあり)・IPフォン 088-603-0080

- 【お願い①】 準備の都合上、イベント申込・託児の**キャンセル**は、前日までに**必ずご連絡**ください。  
 【お願い②】 お昼を越えるイベントでお子様にご昼食をお持ちの際は「おにぎり」のみとして下さい。  
 アレルギーのお子さんが、他のお子さんの昼食を欲しがるとのことです。ご協力をお願いします。  
 【お願い③】 参加費はおつりのいらぬようにご準備ください。特に高額紙幣はご遠慮ください。  
 【お願い④】 企画の場を通して政治・宗教・ネットワークビジネスなどへの勧誘活動はお控えください。
- ▼お申込み時お伝えください。  
 ①イベントID  
 ②参加者氏名  
 ③組合員コード  
 ④参加人数  
 ⑤連絡先  
 ⑥託児(名前・年齢・性別)

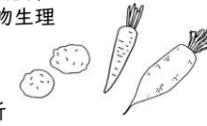
**イベントの受付はメ切日の17:00までです**      **託児のメ切はイベントメ切の1週間前です**

**イベント参加時は必ずマスクの着用をお願いします。未着用の方は参加をお断りする場合があります。**

## WEB&会場 連続講座 BLOF理論栽培技術実践型講座「有機栽培を学ぶ」

BLOFとは、生態系調和型農業技術理論(Bio Logical Farming)のこと。自然生態系のメカニズム・植物生理を知り、作物が本来持っている能力を最大限に発揮させる土づくりを学び、栄養価の高い農産物を安定生産する技術を身につけましょう。

- <第1回>** イベントID:16212359  
**■日時:6月29日(火)13:00～16:00** ■会場:下記参照  
**■講師:元木 雅人さん(講師オンライン参加)**
- ・太陽熱養生処理の仕組と実践
  - ・アミノ酸肥料、ミネラル肥料
  - ・水溶性炭水化物と植物生理
  - ・追肥について
  - ・質疑応答
- <第2回>** イベントID:16212360  
**■日時:7月20日(火)13:00～16:00** ■会場:下記参照  
**■講師:元木 雅人さん(講師オンライン参加)**
- ・体積法による土壌分析
  - ・施肥設計の考え方
  - ・施肥設計シートの使い方
  - ・太陽熱養生処理後の確認
  - ・質疑応答



- <第3回>** イベントID:16212361  
**■日時:9月14日(火)13:00～16:00** ■会場:下記参照  
**■講師:田中 誠さん(講師オンライン参加)**
- ・水稲の白根栽培・収量・抑草・病害虫対策
  - ・野菜の栽培管理について
  - ・実践圃場の栽培指導
  - ・質疑応答
- 会場:**  
**【第1回～第3回】B:コープ自然派奈良会議室:定員10名(予定)奈良市今市町40-1**  
**C:農民連・奈良産直センター:定員10名(予定)高市郡明日香村越131-1**

- <第4回>** イベントID:16212362  
**■日時:2022年1月18日(火)13:00～16:00**  
**■会場:A:オンライン開催(定員100名)**  
**D:橿原ミグランス コンベンションルーム(予定)**  
**近鉄大和八木駅南側(南口から徒歩3分)**  
**■講師:小祝 政明さん(日本有機農業普及協会(JOFA)代表理事)**
- 参加費:** 無料 要予約 / 会場参加の託児なし(同伴可)      **■イベントID:** 上記参照      **■定員:** 上記参照  
 ※申込時に「オンライン参加」「会場参加」をお伝えください。 ※オンライン参加の方はメールでお申し込みください。  
 ※感染症の状況によりオンラインのみになる場合があります。 ※農家向けの講座ですが、一般の方もご参加いただけます。  
**■主催:** かしはらオーガニック      参加団体: コープ自然派奈良、農民連・奈良産直センター、橿原市魅力創造部農政課
- <第1部>**  
 「未来を創るBLOF理論」  
 無農薬・高品質・多収穫栽培を成功させるために  
**<第2部>**  
 ・実践圃場の栽培講評  
 ・質疑応答



メールで申込み

## WEB えっ!?私の貯金ってこんなことに使われてたの?銀行を選ぶもう一つの基準

フェアファイナンスガイドって聞いたことありますか?銀行を営業成績やサービスではなく、社会的観点からみてどのくらいちゃんとしているかを格付けしよう、という試みです。例えばA銀行はこっそり武器作ってる会社にお金貸していた!など。フェアファイナンスガイドは気候危機、食、エネルギーなどについて主要銀行を調べて情報を公開している団体です。みんなでお話を聞いてみませんか?そして少しでもよい社会にするために預金者の立場でできることを考えてみませんか?

- 日時:7月1日(木)10:00～12:00** ■会場:オンライン開催  
**■講師:田中滋さん(フェアファイナンスガイドジャパン日本版 実行委員)(zoomミーティング)**
- 参加費:**(組合員)大人300円 こども無料 (一般)大人400円 こども無料 ※子ども=中学生以下  
**■定員:**20名      **■イベントID:**16212376      **■主催:**CIVIC ～よりよい市民になるために  
**■申し込み開始日:**6/14(月)0:00より先着順。 ※メールでお申し込みください。      **■申込みメ切:**6/30(水) ※定員に達し次第、受付終了  
 ※メ切後、当日の参加方法についてメールでお知らせします。開催前日正午までにメールが届かない場合はお問合せください。



メールで申込み

## WEB 安全な食品とは!光食品さんにトコトン聞いちゃいます!!

蒸し暑くなってきたこの時期、しゅわっと美味しい飲み物を・・・と思いがち。ウソモノのジュースがあふれるなか、これぞ本物のジュース、スポーツドリンク!という商品をつくっておられる光食品さんにホンモノへのこだわり、商品づくりへのおもいなど、バンバン聞いてしまう企画です。。ドレッシングや、なんと麻婆豆腐のたれまで手がける光食品さんの魅力にせまります。ZOOM開催ですので、画面の向こうでみんなでジュースで乾杯なんていかがでしょうか?(事前に注文してくださいね・・・)

- 日時:7月5日(月)10:30～12:00**  
**■会場:オンライン開催(zoomミーティング)** ■講師:光食品 島田光雅さん
- 参加費:**無料(一般共) ■イベントID:16212358 ■定員:30名 ■主催:ゆったりさん  
**■申し込み開始日:**6/7(月)0:00より先着順。 ※メールでお申し込みください。  
**■持ち物:**出来ましたら各自で光食品さんの飲み物をご準備ください。 ■申込みメ切:6/30(水) ※定員に達し次第、受付終了  
 ※メ切後、当日の参加方法についてメールでお知らせします。開催前日正午までにメールが届かない場合はお問合せください。



メールで申込み

## 総代会特別講演会 稲垣えみ子さん～くらしの中のほんとうに大切なもの～

東日本震災をきっかけに、超節電、ほぼガスなし、家電なしの、モノを手放す生活へとシフトしていった「アフロの元新聞記者」稲垣えみ子さん。モノにとらわれない日々の生活を通して見えたこと。豊かな生活って?暮らしの中で本当に大切なものは何なのか?私たちが今を生きるヒントが散りばめられたお話を、たっぷり聞かせていただきます。



- 日時:7月11日(日)13:00～15:00**  
**■会場:ならまちセンター 市民ホール**  
**■講師:稲垣えみ子さん** 愛知県生まれ。大学卒業後、朝日新聞社入社。大阪本社社会部、週刊朝日編集部などを経て、朝日新聞論説委員、編集委員を歴任。2016年に50歳で依願退職し、フリージャーナリストになる。主な著作『魂の退社』東洋経済新報社(2016)『アフロ記者が記者として書いてきたこと。退職したからこそ書いたこと。』朝日新聞出版(2016)『もうレシビ本はいらない 人生を救う最強の食卓』マガジンハウス(2017)
- 参加費:**大人300円 子ども50円※子ども=中学生以下(一般共)  
**総代は参加費無料・交通費支給・託児無料**  
**■定員:**150名      **■託児:**あり(500円/1人)。子ども・1才未満の同伴:可。  
**■持ち物:**マスク      **■イベントID:**16212342  
**■申込みメ切:**7/2(金) ※応募者多数の場合抽選。 ■主催:理事会



メールで申込み



## センター長に聞いてみよう!添加物学習会

スーパーで買い物をするたびに気になる食品添加物。どれを選んだらいいのか、原材料表示を眺めては悩みますよね。そんな添加物についての日々の疑問や、商品選びのポイントについて、コープ自然派奈良センター長の奥瀬さんにお話をうかがいます。自然派の商品と市販品との食べ比べもします。リアルイベントならではの「食べて実感!」を体験しに来てくださいね♪

- 日時:7月13日(火)10:00～12:30**  
**■会場:田原本青垣生涯学習センター**  
**■講師:奥瀬健介さん(コープ自然派奈良センター長)**
- 参加費:**大人300円 子ども50円 ※子ども=中学生以下(一般共)  
**■定員:**15名      **■託児:**あり(500円/1人)。子ども・1才未満の同伴:可。  
**■持ち物:**筆記用具、マスク、布巾、同伴のお子様用の上靴(スリッパ)  
**■イベントID:**16212355      **■申込みメ切:**7/6(火) ※応募者多数の場合抽選。  
**■主催:**中南和地区くらぶ準備会      近鉄田原本駅・西田原本駅下車 徒歩20分



メールで申込み

**報告**

にんじんキャラバン@  
オンラインツアー2021

有機の里 熊本県山都町からコープ有機の西山翔さんとにんじん生産者のKUSUKI YOSHIMASA鳥越靖基さんとオンラインで繋いで交流しました。当日は圃場からの中継もある予定でしたが、雪が積もって煙の煙は見ることができませんでした。みなんで自己紹介したあと、山都町の動画や説明を聞きまして、山都町は有機農業を推進しています。多い町で、町をあげて有機農業を推進しています。2011年の関東大震災で炊き出しボランティアをした時に「野菜を食べたい」という被災者の声を聞き、「安心して食べれる野菜をつくりたい」と思い立ち、熊本のキッチンガーデン(現コープ有機九州支所)をインターネットで見つけて、同じバンドのメンバート共に山都町に移住されてきたそうです。休耕地を耕し、農地にし、にんじん栽培を始めました。山都町は阿蘇山の外輪にあり、火山灰が降り注ぐ地域で土壌にミネラルが豊富にあり、それに馬糞堆肥や竹パウダーを入れて土作りをして、また30年有機農業を目指して行っているそうです。まだ30代若手農家の鳥越さんのエネルギーが素晴らしいとお話と音楽を聴くと、有機農業の未来は明るいとお話になりました。

間に慣れた栽培のにんじんと有機にんじんの食べ比べや、参加者が用意したにんじん料理をそれぞれ食べコミュニケーションをとったり質疑応答など、予定時間を超え楽しい交流は続き、離れた山都町がとても身近に感じたひとときでした。

農林水産省は、脱炭素社会を目指す政府の方針も踏まえ、2050年までに有機農業の面積を国内の農地の25%にあたる100万haまで拡大する目標を取り組みました。コープ自然派でも、有機農家を増やす取り組みをどんどん進めています。私たち組合員や農家は、有機農産物を買う、食することで持続可能な農業を支えていくことが大切なのだと実感した学習会になりました。

(西澤亜希子)

**■開催日:**2021年1月29日  
**■場所:**zoom開催  
**■主催:**商品委員会